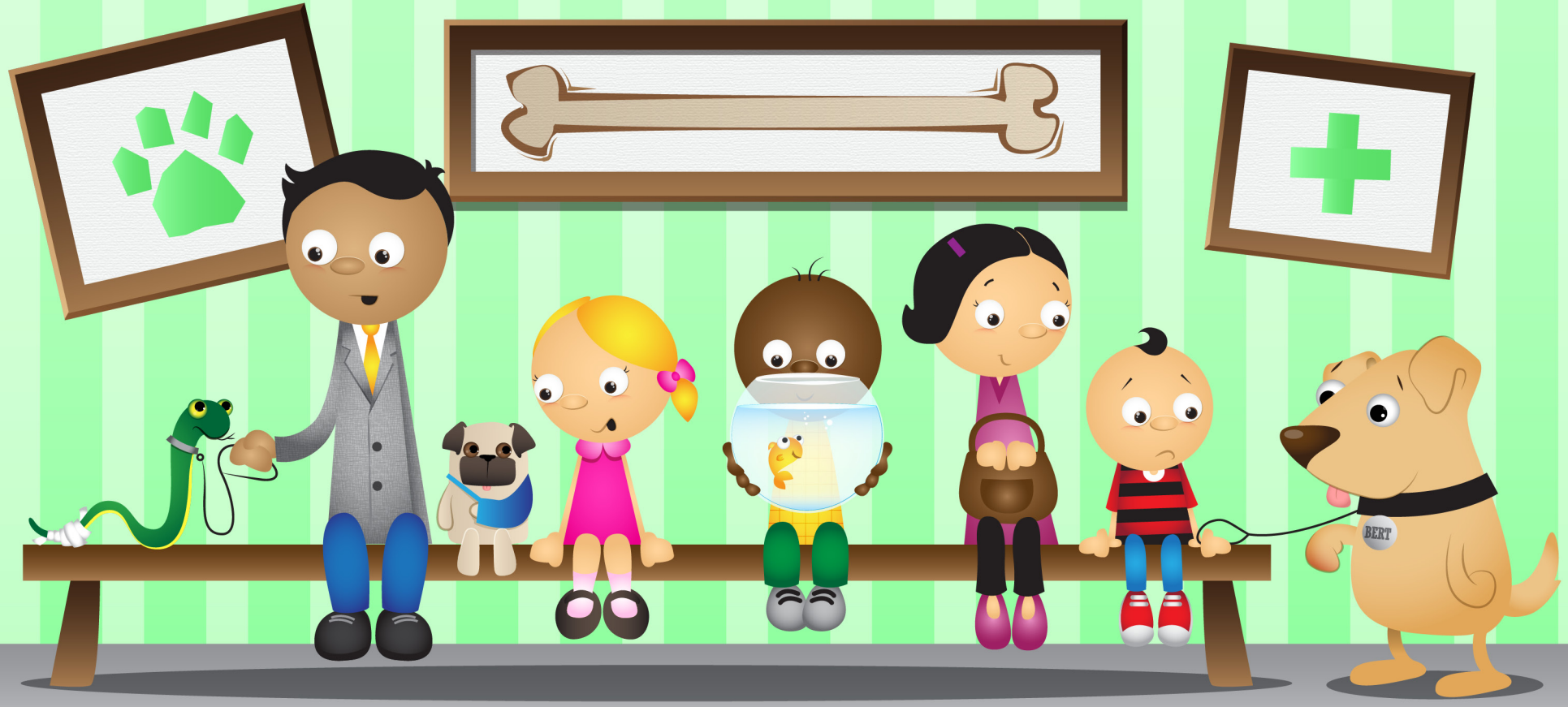
信頼して 待つこと

「ニール、ここに すわって 待つのよ。診察は すぐに 終わるから。バートの ことは 心配ないわよ。すぐに よくなるわ。」と、お母さんが 言いました。

「だけど お母さん。獣医さんが バートを 見てくれる 間、ぼくは そばに いたいんだ。」 動物病院の 待合室で 待ちながら、ニールが 言いました。

ラブラドール犬の バートは、ニールと 大の 仲良しです。ニールは、バートが 最高の 犬だと 思っていました。今、バートの 前足は はれ上がって、びっこを ひいています。それで、ニールの お母さんは バートを 獣医さんの 所へ 連れて来たのでした。ニールは、どうして バートの 足が はれたのか 分からないので、心配でした。



「獣医さんは、バートを 治してあげられるかなあ?」
ニールが お母さんに たずねました。「獣医さんが バートの
足を 見る 時、バートは 痛がるかなあ?」

「ニール。そんなに バートの ことを 心配しても、それで
バートや あなたの 気分が よくなる わけじゃ ないのよ。
獣医さんは いい お医者さんだから、ちゃんと バートの
ことを みてくださるわ。あなたも、イエス様に バートを
世話してくださるように 祈ると いいわね。」と、お母さんが
言いました。

ニールは、診察室の 外の ベンチで 待っていました。
泣いているのを だれにも 見られたくありませんでした。
ニールは、自分が そばに いない 理由が 分からずに
バートが 悲しそうだった ことしか 考えられませんでした。
ニールは 鼻を すすりながら、静かに 祈りました。
（イエス様、どうか バートと いっしょに いてください。
バートが こわがりませんように。）

「おや、ぼうや。どう したのかね?」

ニールが 顔を 上げると、わきの 下に 小さな 箱を かかえた おじさんが 立っていました。「君の ペットが 診察室に いるのかい?」

ニールは なみだを ふきながら、うなずきました。

「君の ペットの 名前は?」 親切そうな おじさんが たずねました。

「バートです。」

「ああ、バートか! 知っておる。わたしは、ジョーンズ 医師じゃ。 今から バートの 様子を みる ところだよ。」

ニールは ほほえみました。「おじさんは 獣医さん なんですか?」

「そういう ことじゃ。心配は いらんよ。すぐに バートを みてあげるからね。おそらくは、前足に トゲでも ささって おるのじゃろ。すぐに 手当てしてあげよう。」

お医者さんは、持っていた 箱から クッキーを 出して、ニールに あげました。「これを 君に あげよう。それと こっちは、診察が 終わったら バートに あげると いい。」そう 言って、彼は 犬用の おやつも くれました。

「ありがとうございます！」 ニールは、もう 元気が 出てきました。獣医さんに 会って、自分の 犬が 親切な お医者さんに みてもらえると 分かったので、安心したのです。

案の定、バートの 前足には トゲが ささっていました。ちょっとした 手当てで、バートは じきに また ニールと いっしょに 走り回って 遊べるように なりました。まるで 生まれ変わったように 元気です！

ニールは その日、大切な 教訓を 学びました。心配する ことは 役に 立たないけれど、物事が うまく いくと 信じる ことは 役に 立つと。そして 実際に、その 通りに なったのでした！

「心を つくして 主に 信頼せよ。」
（口語訳聖書、箴言 3:5）

ヴィヴィアン・カスコウによる話の編集：デヴォン・T・ソマーズ
絵：アルビ　デザイン：ステファン・ミーラー　出版：マイ・ワンダー・スタジオ
Copyright © 2013年、ファミリーインターナショナル “Waiting & Trusting”--Japanese
http://www.mywonderstudio.com/0-5/2013/10/21/waiting-and-trusting.html